

市大病院情報誌



そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

西日本 **初** となる  
MRリニアック導入のお知らせ

最新の情報についてお知らせします。

MRリニアックシステムは、高磁場MRIとリニアックを融合した高精度放射線治療システムで、治療直前および照射中にも患者さんのMRI画像を取得することが可能です。MRI画像を確認しながら、腫瘍とその進展範囲、周囲臓器との位置関係をリアルタイムに捉え、腫瘍をピンポイントで照射しながら、近接する正常組織の被ばくを避けることができます。また治療期間中の腫瘍の形状や位置の変化に応じて治療計画をオンラインで即座に変更できることから、これまでにない患者さん一人ひとりに合わせた精度の高い治療を実現します。まだ日本に導入されていないシステムで、2021年度末に西日本で1号機として稼働することが決定しました。「市大病院で治療してよかった」…と心から感じていただけるよう、放射線治療技術の最前線を追求して、最適な放射線治療が提供できる努力をしています。放射線治療でご質問などございましたら、なんなりと中央放射線部スタッフにお声かけください。

(中央放射線部 市田 隆雄)



Elekta Unity 外観



操作コンソール

Contents 2021年2月 第40号

- ▶ 西日本初となるMRリニアック導入のお知らせ
- ▶ 機械学習を用いた患者さん個別の同種造血幹細胞移植後の予後予測アプリ
- ▶ 心不全の原因となる“心アミロイドーシス”という病気をご存知ですか？
- ▶ リンパ浮腫に対する手術療法「リンパ管静脈吻合術」について
- ▶ 子宮体がんに対するロボット支援下手術について
- ▶ 遺伝カウンセリングをご存知ですか？
- ▶ パッチテスト
- ▶ 初期臨床研修医の外来診療研修について
- ▶ 診療科紹介 消化器内科
- ▶ 認定看護師の活動について



機械学習を用いた患者さん個別の  
同種造血幹細胞移植後の

予後予測アプリ

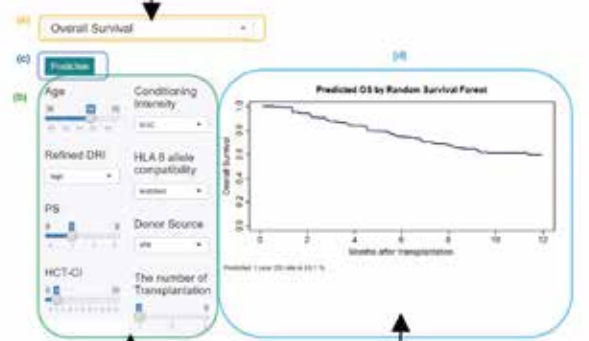


当院は、近畿地区における造血幹細胞移植推進拠点病院として、これまで740件以上の同種造血幹細胞移植を行ってきました。我々は、当院で移植治療を受けられた患者さんの診療情報を活用させて頂き、これから当院で移植治療を受けられる患者さんの個別の条件に応じた移植後の予後(生存率など)が予測できるアプリケーションを開発し、論文報告を致しました。(Transplantation, 2020 Jun 11.) 今後、移植治療を考えている患者さんの身体情報、疾患情報、移植法などを設定することで、その患者さんの移植予後予測結果が計算され、表示されるツールになります(<https://isyokuyoten-ocu.jp/tools/>)。

このようなツールの予測精度をさらに向上させ、患者さんの意思決定支援に寄与することができれば、と考えております。ご利用を希望されます患者さんがおられましたら、予測結果の解釈には専門的な知識が必要となりますので、まずは主治医にご相談ください。

(血液内科 岡村 浩史、中前 美佳、中前 博久)

全生存率 (Overall Survival: OS)、無進行生存率 (Progression free Survival: PFS)、再発進行 (Relapse/Progression)、非再発死亡 (Non Relapse Mortality: NRM) のうち、表示したい転帰を選択



患者個別の移植前要因を設定

左パネル(b)で設定した患者条件における1年予後曲線が表示される。



## 心不全の原因となる

# “心アミロイドーシス”という病気をご存知ですか？



循環器内科 心不全グループ

“息ぎれやむくみといった症状を感じた場合、それは心不全のサインかもしれません”最近、テレビのコマーシャルでご覧になった方もおられるかもしれません。全身に血液を送るポンプである心臓の動きが悪くなっておこる病気が心不全です。ポンプの動きが悪くなる原因のひとつに、心臓が固くなる“心アミロイドーシス”という難病があります。比較的珍しい病気だと考えられていた心アミロイドーシスですが、近年の研究から70歳以上の男性で予想以上に多く潜在していることがわかってきました。

元プロレスラーのアントニオ猪木さんもこの病気に侵されていることを自身のツイッターで報告されています。以前は治療法がなかった心アミロイドーシスですが、研究の進歩により今では治療可能な病気となりました。当院は心アミロイドーシスの原因治療薬（根本原因を治療するための薬）の導入施設として日本循環器学会より承認を受けております（2020年11月現在、大阪市では2施設のみ）。

当院では心アミロイドーシスを含めた心筋症の最新の高度専門診断・治療が可能です。  
（循環器内科 泉家 康宏、柴田 敦、葎山 稔）



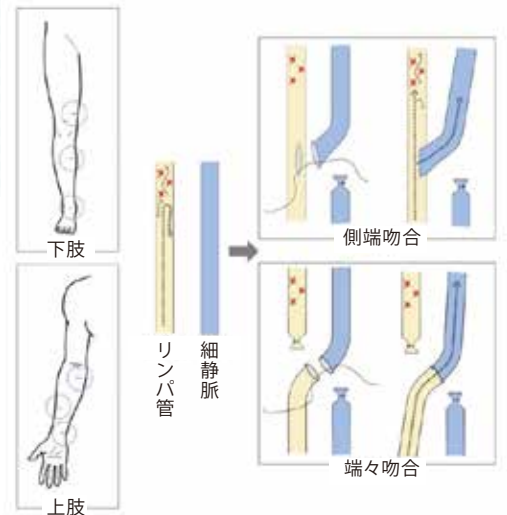
ピロリン酸シンチグラフィという検査でスクリーニングを行います。

## リンパ浮腫 に対する手術療法 「リンパ管静脈吻合術」について



乳がん、子宮がん、前立腺がんをはじめとするがん治療（リンパ節郭清術や放射線治療）の結果、上肢や下肢をはじめとするあらゆる部位のリンパ液が溜まってむくんだ状態を「リンパ浮腫」と呼びます。無治療のままだと、浮腫の進行だけでなく、歩行障害や感染症、悪性腫瘍の発生リスクも高くなります。リンパ浮腫の治療の要は弾性ストッキングなどによる圧迫療法ですが、治療抵抗性のもも少なくありません。近年、リンパ液の溜まりを改善する「リンパ管静脈吻合術」が新しい外科治療として注目されています。微小血管外科の進歩によって、約0.5mmのリンパ管と近隣の静脈の吻合が可能になり、うっ滞したリンパ液を血管に流す（ドレナージ）術式です。当院形成外科でもこの手術を受ける事が可能です。また、重症化したリンパ浮腫に対する血管柄付きリンパ節移植や脂肪吸引等も行っています。詳しくは当院形成外科までお問い合わせ下さい。

（形成外科 水田 栄樹）



リンパ管と静脈との吻合手術



# 子宮体がんに対する ロボット支援下手術について

2009年に手術用ロボット「da Vinci(ダヴィンチ)」が医療機器として厚生労働省に認可され、その後ロボット支援下手術が急速に普及しております。2018年4月の診療報酬改定で子宮体がん及び子宮筋腫にも保険適用が認められ、当院婦人科でも2020年10月より子宮体がんに対するロボット支援下手術を開始しました。最先端技術によって従来の腹腔鏡手術よりさらに正確で緻密な操作が可能となり、より安全に手術を行うことが可能となりました。本手術の手技は、腹腔鏡手術に比べ、内視鏡の拡大視野とロボットの繊細で正確な動きにより、出血量の減少、合併症率の軽減などの手術成績の向上が期待されます。これから治療を受けられる患者さんにとっては選択枝が増えたこととなります。詳細な適応については、ぜひ当科にご相談下さい。(女性診療科 山内 真)



オペレーションスタッフ

**1** アクセスと術野の確保



Multi-Quadrant Access

**2** 血管、靭帯処理



Integrated Table Motion



Controlled Visualization Scope flip/camera hopping



Vessel Sealer Extend

ダヴィンチの全貌

## 遺伝カウンセリングをご存知ですか？

近年ほとんどの病気が遺伝子の変化によって起こることが明らかになってきて、遺伝子検査を用いた診断や治療など、“遺伝”が身近になりつつあります。しかし、“遺伝”ということは家族にも遺伝するのか、遺伝子検査を受けたらどんな影響があるのか…など戸惑い不安に感じることがあります。そのような不安に対し、遺伝カウンセリングでは遺伝と病気の関係や遺伝子検査について説明した上で、遺伝にまつわるあらゆるご相談をお受けしています。また、遺伝子の変化が疾患の原因と疑われている場合で、診断に至っていない方の診療も行っています。総合診療センター受付や代表電話からお気軽にご相談ください。(ゲノム医療センター 馬場 遥香)



相談内容の例



診断された病気が遺伝性らしい。子どもへの遺伝などすべてが不安。



診断のために遺伝子検査を提案されたが、遺伝なんて調べても良いのだろうか。



兄が遺伝性疾患だと診断された。自分も同じ病気が調べたい。

## パッチテスト

接触皮膚炎(かぶれ)という皮膚の病気をご存知でしょうか？原因となる物質が接することで起こる皮膚の病気です。主に原因物質が接した部位に「赤み」「腫れ」「かゆみ」を生じます。一度症状が出ると、同じ物質に触れるたびに繰り返します。それゆえ原因物質を突き止めて、触れないようにすることが大切です。接触皮膚炎の原因を調べる検査がパッチテストです。原因として疑われる製品や日本人に陽性率の高いアレルゲン一式を背中の皮膚に貼り、反応を確認します。化粧品やヘアケア製品、ゴム手袋などの日用品、金属なども検査することができます。ご自身の生活で注意すべきものを明確にできますので、今後の予防につながります。



金属アレルギーのパッチテスト

当院皮膚科ではパッチテストができますので、繰り返す湿疹でお悩みの方はご相談ください。(皮膚科 林 恵理子)

## 初期臨床研修医の 外来診療研修について

医師国家試験合格後の2年間の初期臨床研修では、すべての医師に共通して必要な診療能力ならびに、医師としての人格の形成が求められています。特に、適切な外来診療を習得するために、当院の総合診療センターでは、多くの臨床研修医が外来診療研修を行っています。

初期臨床研修医は指導医とともに、総合診療センター外来の初診患者さんを中心に問診や診察を主体的に行っています。指導医は常に患者さんの診療状況を把握しながら、研修医が診療を通じて、よりよい医師に育つように指導しています。良き臨床医の育成は、指導医の力によるものだけではありません。患者さんのご理解・ご協力なしには、未来の良医は育(はぐく)まれません。未来の良医とともに育むべく是非とも、外来研修へのご協力をお願いいたします。ありがとうございます。

(総合診療センター〔総合医学教育学〕 福本 一夫・首藤 太一)



初期臨床研修医も現場で頑張っています



## シリーズ 診療科紹介 消化器内科



消化器内科では、様々な消化管疾患や内視鏡検査・治療が必要な胆膵領域の疾患を担当しています。消化管癌の治療として、早期の食道・胃・大腸癌の内視鏡治療や進行癌に対する化学療法を行っており、質の高い丁寧な診療を心がけています。また潰瘍性大腸炎・クローン病などの炎症性腸疾患に対する専門的診療を行っており、関西で有数の診療実績を誇っています。胆膵領域の内視鏡検査も近年ニーズが高まっており、検査件数が増加しています。他の特徴としては胃食道逆流症、機能性消化管疾患、小腸疾患の診療にも力を入れています。また好酸球性食道炎・胃腸炎に対する診療実績が非常に多く、全国でも屈指の実績となっています。新たな試みも積極的に行っており、食道アカラシアに対する内視鏡治療(POEM)や難治性の便秘専門外来など、診療・研究に熱心に取り組んでいます。

(消化器内科 田中 史生)



内視鏡治療の様子

## シリーズ 第15回 ～認定看護師の活動について～

当院では、専門的な知識と視点を持つ認定看護師・専門看護師が協力しながら対応・活動しています。

### 救命救急センターにおいて看護師が行う特定行為

救命救急センターには、突然の事故や病気などで生命を左右する状態にあり、多くの医療機器の助けを必要とする患者さんが入院されています。その生命を救う機器の一つに、自力での呼吸が難しい患者さんの呼吸を助ける人工呼吸器があります。人工呼吸器の設定は本来医師が行いますが、当センターでは人工呼吸器に関連した行為が実施できる看護師(特定看護師)が患者さんの呼吸・循環・意識などを細かく観察し、病状の変化や回復に合わせてタイムリーに患者さんに合った人工呼吸器の設定に調整しています。特定看護師が適切なタイミングで介入することで、病状の回復を促し人工呼吸器の使用期間の短縮に繋がっています。そして、少しでも早く危機的な状況を乗り越え、社会復帰できるよう努めています。

(特定看護師 救急救命センター 井上 玲子)



特定看護師がタイムリーに人工呼吸器を調整することで早期回復を目指します

認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。  
※公益社団法人日本看護協会ホームページから引用 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cn>

発行 / 大阪市立大学医学部附属病院

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地：〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号  
電話：(06)6645-2121(代表)

初診受付時間：午前8時45分～午前10時30分  
休診日：土・日・祝日、12月29日～1月3日